

第11回土木施工管理技術論文（優秀論文賞）紹介

吊足場の組立工法に関する改善

（本文より一部抜粋）

宮崎県土木施工管理技士会
（株）佐多技建安全対策室室長
富山 陽人

1. 工事概要

工事名称：国道269号加納バイパス古城
大橋上部工工事
発注者：宮崎県宮崎土木事務所
工期：平成17年5月20日～
平成19年3月31日

- ⑥ 定位置まで走行装置により水平移動を行う（写真－2）。
- ⑦ 足場を主桁より吊替え、定位置に設置する（写真－3）。

2. 現場における課題・問題点

従来の吊り足場組立て手順にて施工を行う場合、以下の問題点が考えられた。

- ① 組立は親綱を使用しての高所作業が主となり、墜落災害等の危険が非常に高い。
- ② 長時間の交通規制を伴う作業となる為、一般通行者へ不便負担をかける。
- ③ 交通規制により、片側交互通行での作業が主となり、作業に伴う資材の落下、飛散物の発生等、第三者災害が予測される。
- ④ 交通規制は夜間のみ許可との条件であり、作業効率が低下する。

3. 対策・工夫・改良点

提案工法の手順

- ① 主桁には架設時に足場吊金具を取付けておく。
- ② また水平移動用走行レールを取り付けておく。

以上の準備作業が必要である。

その後、直接作業として以下の手順にて施工する。

- ③ 足場を地組する（写真－1）。
- ④ 足場防護設備は可能な限り組み込む。
- ⑤ 足場を揚重装置にて桁下まで吊上げる



写真-1 足場地組状況



写真-2 吊り足場移動



写真-3 吊り足場設置完了